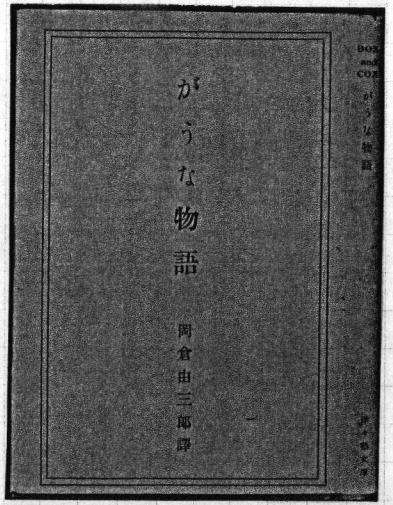
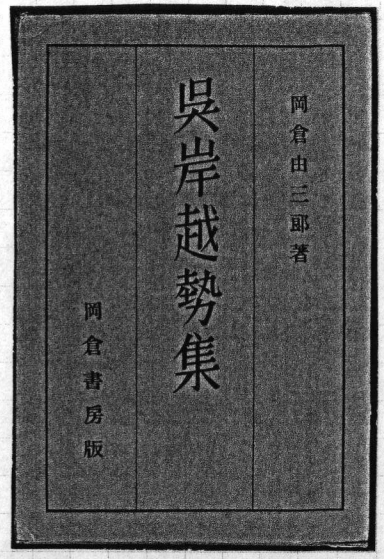
岡倉由三郎（おかくらよしさぶろう）　言語學・英語學者。慶應四年（一月二十一日武藏國生れ、昭和十一年十月二十一日歿（一八六八―一九三六）。筆名英岸（くれがし）、浪野吳岸、由侍、殷谷廬哉。岡倉天心の弟。帝國大學文科大學漢科卒。明治三十九年高等師範學校教授、三十四年イギリス留學、のち東大學教授。

著書『比較言語學一名日本語學一班』（明治二十二年十一月十一日明治義會）、『發音學講話』（明治三十四年十一月、三日冨山房書店）、『國字改良論纂』（合著。堀江秀雄纂、明治二十五年七月）、『新撰日本文典文及文の解剖』（明治二十八年八月）、『英語發音學』（大正十一年二月）、『英語發音學大綱』（明治二十九年七月）、『THE LIFE AND THOUGHT OF JAPAN』（OKAKURA-YOSHISABRO名、1913. LONDON AND TORONTO. J.M. DENT & SONS, LTD.）、『ろまれる補修讀本・巻四』（大正八年）、『ジョウゼフ・コンラッド作『ものいふものヤンナ』』（譯註、大正十年十月）、『珍がうな物語』（譯、大正十二年十月五日研究社）、J.M.MORTON作『珍がうな物語』（市河）三書編、研究社）、『洋々塾文庫』）、『梧渭』（寺田武夫共譯註、大正十四年十月五日研究社『洋々塾文庫』）、『岡倉先生記念論文集』（市河）三書編、昭和二年十一月十日岡倉先生還暦祝賀會）、『新英和大辭典』増補別冊』（編、昭和八年一月十日研究社）、『ローマ字の調査（意見書）』



（昭和八年十月）二十日帝國ローマ字クラブ「われらの主張」）、『新語術』（今著・社會教育會編、昭和九年五月）二十五日社會教育會、社會教育會館發賣）、『呉岸越勢集』（昭和九年六月）二十日岡倉書房）、『ローマ字の話』（西原麟太郎編、昭和二十一年）二月十五日研究社）等。